

大阪 海外環境難受け警戒見通しで下旬入り

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見商状。ここまでの入荷不振によって、需給タイト化はいまだ残る展開ながらも、世界的な経済不安を始め、海外市場も下落がすすんでいることを理由に、軟化へ転じつつありそうだ。同地区電炉のH2実勢値は1万9500～2万1000円(一部上値2万1500円)、新断バラ同2万2500～2万3500円、鋼ドライ粉バラ同1万6500～1万8000円見当で推移。

月央からの2船続けての共同輸出船積み電炉入荷を今月で最も振るわないものとするなかで、3月は2月比で生産、需要ともに増加していることが、タイト化を継続させている。3連休明けは在庫回復を図らなければ

ならないところもあり、「需要が揃って落ち込むような状況でもない。これまでの入荷不振をカバーすべく、東鉄に動きがなければ、需給優先で様子見が保たれるのでは」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。

ただ、新型ウイルスの世界的な拡大が各国の経済活動停滞だけでなく、金融市場、原油相場の急落をもたらしている。これまでは入荷優先でこうした動きは影響してこなかったが、今月の需要ピークとされる3連休を終え、鉄スクラップ市場もトルコ向け輸出指標価格の急落によって、アジア向け輸出商談も下落圧力が一段と高まっていることで、「海外安が波及するのは時間の問題」(商社)と先行き不安が急速に広がっている。

山陽特殊製鋼、3月23日(月)7時～27日(金)19時まで一部除き荷止め

(姫路) 山陽特殊製鋼は、3月23日(月)7時～27日(金)19時までドライ粉のダンプ車除き、他の品種は車輛に

荷受け再開後の入場開始時間は3月27日(金)17時より、荷受け開始時間は3月27日19時より。

平林金属、複合品の単一素材化に注力で品質向上

(岡山) 総合リサイクル企業の平林金属(本社=岡山市北区、平林実社長)は、小型モーターや家電由来のコンプレッサー(黒モーター)の扱い量増加に伴って、家電4品目をリサイクル処理するリサイクルファーム御津に近畿工業製スーパーシュレッダーを導入し、作業効率化を図った。本格稼働は4月予定。

同機は処理対象物を直接投入することで素材の分離連続処理ができる破砕機になる。雑品類などの複合品の破砕処理が可能で、小型モーターやまたコンプレッサー(黒モーター)においても独自技術によって素材の絡みを抑制し、品質の高い単一素材の生産性に優れている。導入について技術開発部の逢澤文孝課長は「手作業で分解しているのを機械化し、人材不足を補うための省人化と処理能力を強化するため導入した」と話す。

平林金属は鉄、非鉄スクラップ、小型家電、家電4品目など様々なリサイクル事業を展開し、なかでも強

みである複合品を品質の高い単一素材にする加工技術は原料供給する際にメーカーから指名されるほど厚い信頼を寄せられている。同社では高品質の素材を供給するための破砕機や選別機が用途によ



導入した近畿工業製スーパーシュレッダー

って備えており、スーパーシュレッダーの導入以外にも、破砕処理した小型家電等から発生するミックス金属の選別拠点である西大寺工場に色彩や形状などで素材を識別できる最新の選別機を導入し、3月末にはX線選別技術を駆使した選別機が稼働予定となっている。

詳細はMRM5月金属スクラップ加工処理設備特集号に掲載。

答えは一つじゃない!

2016年9月伝々夢紙138



0120-728-243
(ナニワの富士山)

日々のつぶやき 番外編 2020.3.23

■異論・反論は尊重するが、うわべの意見は面白くない
▶この世に優生思想は根強く残っているのだ。ネット空間には、この被告にくみする書き込みが少なからず見える。(3月17日付日本経済新聞「春秋」より一部抜粋)
▶罪の弾劾という感情論を抜きにしても、この「強者生存」の思考を全否定します。1点集中はただの博打だからです。自然淘汰と作為の淘汰は似て非なるものです。強者生存はいわば多様性の否定。「今」の繁栄が未来永劫に続くという勘違い(慢心)があります。未来は何が起きるか分かりません。変化に対応できなければ、待っているのは自滅です。何が最適か? 「型枠」にはめ込んだ答えではなく、自問自答・試行錯誤による汗をかいた考動こそが必要です。